

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和8年3月31日

木更津市議会議長 草刈 慎祐 様

会派名 木更津市議会会派 輝楽会
代表者 氏名 藤田 真澄

木更津市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、次のとおり令和7年度政務活動費の収支を報告します。

1 収 入

政務活動費 240,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
1 調査研究費	61,446	「実施明細書」のとおり。
2 研修費	0	
3 広報費	0	
4 広聴費	0	
5 要請・陳情活動費	0	
6 会議費	0	
7 資料作成費	90	「実施明細書」のとおり。
8 資料購入費	1,500	「実施明細書」のとおり。
9 人件費	0	
10 事務所費	0	
11 その他の経費	0	
合 計	63,036	

3 残 額 176,964 円



現金出納簿

会派名 木更津市議会会派 輝楽会

(単位:円)

年月日	伝票整理番号	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
R7.4.1		政務活動費	240,000	0	240,000
R7.4.4	1	市町村財政分析講座 参加費		27,000	213,000
R7.4.4	2	市町村財政分析講座テキスト代		2,860	210,140
R7.4.7	3	プリント代		90	210,050
R7.4.8	4	福島原発震災情報連絡センター研修(東京⇄湯本間) 交通費		12,580	197,470
R7.4.14	5	市民と議員のための自治体財政 書籍代		1,500	195,970
R7.4.24	6	福島原発震災情報連絡センター研修(アクアライン高速バス)交通費		1,500	194,470
R7.4.24	7	福島原発震災情報連絡センター研修費		3,000	191,470
R7.4.25	8	福島原発震災情報連絡センター研修 宿泊費、入湯税、消費税		5,650	185,820
R7.4.25	9	福島原発震災情報連絡センター研修(アクアライン高速バス)交通費		1,500	184,320
R7.5.26	10	地方×国 政策研究会(アクアライン高速バス)交通費		1,500	182,820
R7.5.26	11	地方×国 政策研究会(東京⇄国会議事堂前) 交通費		178	182,642
R7.5.26	12	地方×国 政策研究会参加費		4,000	178,642
R7.5.26	13	地方×国 政策研究会(国会議事堂前⇄東京) 交通費		178	178,464
R7.5.26	14	地方×国 政策研究会(アクアライン高速バス)交通費		1,500	176,964
	16				176,964
	17				176,964
	18				176,964
	19				176,964
	20				176,964
	22				176,964
計			240,000	63,036	176,964

科目別支払額一覧表

会派名 木更津市議会会派 輝楽会

(単位:円)

伝票 番号	1調査研究費	2研修費	3広報費	4広聴費	5要請・陳情活動費	6会議費	7資料作成費	8資料購入費	9人件費	10事務所費	11その他の経費
1	27,000										
2	2,860										
3							90				
4	12,580										
5								1,500			
6	1,500										
7	3,000										
8	5,650										
9	1,500										
10	1,500										
11	178										
12	4,000										
13	178										
14	1,500										
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
計	61,446	0	0	0	0	0	90	1,500	0	0	0
											63,036

政 務 活 動 費 実 施 明 細 書



会派名 木更津市議会会派 輝楽会

科 目	支 出 済 額	政 務 活 動 費 実 施 明 細		
		実 施 年 月 日	実 施 明 細	支 出 済 額
1 調査研究費	61,446 円	令和7年4月4日	研修費	29,860 円
		令和7年4月8日	乗車券代	12580 円
		令和7年4月24日	乗車券代 研修費	4500 円
		令和7年4月25日	乗車券代 宿泊費	7150 円
		令和7年5月26日	乗車券代 研修費	7356 円
3 広報費	0 円			円
				円
				円
				円
				円
7 資料作成費	90 円	令和7年4月7日	印刷代	90 円 円
8 資料購入費	1,500 円	令和7年4月14日	書籍購入代	1,500 円
11 その他の経費	0 円			円
	0			円
計	63,036 円			

収 入 伝 票

		代 表 者	経 理 責 任 者	整 理 番 号
				01
科 目	木更津市議会政務活動費	令和7年4月25日起票		
収 入 金 額	金 240,000 円			
摘 要	令和7年度木更津市議会政務活動費 (1人分)			
収 入 先	千葉信用金庫 中央支店 普通 0028478 会派 輝楽会 経 理 責 任 者 藤 田 真 澄			
収 入 年 月 日	令和7年4月25日			

支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		01

科 目	調査研究費	令和7年4月4日 起票
支 払 金 額	金 27,000 円	
摘 要	市町村財政分析講座 参加費	
支 払 先	特定非営利団体活動法人 多摩住民自治研究所	
支 払 年 月 日	令和7年4月4日	

領収書

No. 250324-25045005-1
発行日 2025年4月13日



輝楽会 様

¥27,000-

但し、「市町村財政分析基礎講座」参加費
2025年4月4日 上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人 多摩市民自治研究所
〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 二区プリ日野103
TEL042-586-7651 FAX042-514-8096

支出伝票

		代表者	経理責任者	整理番号
				02
科 目	調査研究費	令和7年4月4日 起票		
支 払 金 額	金 2,860 円			
摘 要	市町村財政分析講座テキスト代			
支 払 先	特定非営利団体活動法人 多摩住民自治研究所			
支 払 年 月 日	令和7年4月4日			

領収書

No. 250324-25045005-3

発行日 2025年4月13日



輝楽会 様

¥2,860-

但し、「市町村財政分析基礎講座」テキスト代
上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人 多摩市民自治研究所
〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 日野103
TEL042-586-7651 FAX042-514-8088

支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		03

科 目	資料作成費	令和7年4月7日 起票
支 払 金 額	金 90 円	
摘 要	プリント代	
支 払 先	ローソン桜井店	
支 払 年 月 日	令和7年4月7日	

LAWSON

木更津桜井店
千葉県木更津市桜井
704-105
電話：0438-53-7005

領 収 証

2025年4月/日 (月) 17:08

木更津市議会
会 記 輝 楽 会 様



合 計 ￥ 9 0 -
(10%対象 ￥90)
(内消費税等 ￥8)

但し、プリント代として
上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願ひ>
財布・手帳等に入れ保管頂く場合、
印刷面を内側に折って保管をお願い
いたします。

管理番号：05022469 00016260

支出伝票

		代表者	経理責任者	整理番号
				04
科 目	調査研究費	令和7年4月8日 起票		
支 払 金 額	金 12,580 円			
摘 要	東京⇄湯本間 交通費			
支 払 先	東日本旅客鉄道株式会社			
支 払 年 月 日	令和7年4月8日			

領 収 証

2025年 4月 8日

煙草会 様

金12,580円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間かたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 申 告 納
付 込 の き 渡 金
税 務 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本契 建 802 No. 0000001



支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		05

科 目	資料購入費	令和7年4月14日 起票
支 払 金 額	金 1,500 円	
摘 要	市民と議員のための自治体財政 書籍代	
支 払 先	特定非営利団体活動法人 多摩住民自治研究所	
支 払 年 月 日	令和7年4月14日	

領 収 証

輝 楽 会 様

2025 年 4 月 14 日

★ ￥1,500-

但 書籍代として、市民と議員のための自治体財政
上記正に領収いたしました

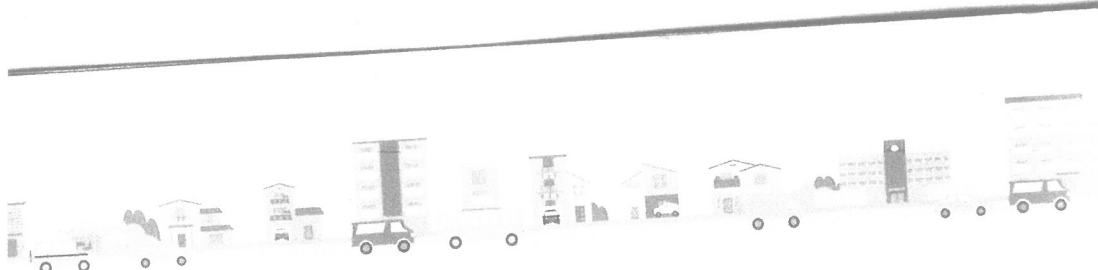
内 訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

NPO法人多摩住民自治研究所

〒101-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野101
TEL 012-586-7651
FAX 042-514-8096

コクヨ ウケ-1048



市民と議員のための 自治体財政

これでわかる
基本と
勘どころ

森 裕之 著



自治体研究社

自治
研究

市町村財政分析講座

日時：令和7年4月13日～4月14日

場所：三鷹市民協働センター

講師：石山雄貴、目黒重夫

目的：決算審査に参加するにあたり、知識を深めるため。

講習内容：

- 1、類似団体比較カード、決算状況、財政状況資料集、市町村分、地方交付税算定台帳を用い、用意された分析用紙に落とし込む。
- 2、分析表では決算額の推移、歳入決算額の構成、経常一般財源の推移などの検証。
- 3、グループディスカッション。



分かった事

- ・資料の入手方法。
- ・時代背景に応じて歳入・歳出の科目の増減がある。
- ・単年だけ、自身の市だけではなく経年的に見る事、類似団体との比較が大事。
- ・難しい財政用語の理解。
- ・グループディスカッションでは、他自治体の決算審査のやり方の違いを学ぶ。(決算審査の人数の違いや、人口、発言人数など)

総括



計算と書き込みがほとんどの講座でしたが、用語の理解、テキスト、計算方法がわかっただけでも参加した意義はあったと感じました。会場には他自治体の財政白書も並んでおり、私個人で作るのでも良いのですが、何人かで作れたら財政に対する理解が深まるだけでなく、決算書を見ることで、どういった事業が木更津市で行われているかを知るだけでも市政に対しての理解できる部分があると感じました。少しずつでもすすめていけたらと思います。

支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		06

科 目	調査研究費	令和7年4月24日 起票
支 払 金 額	金 1,500 円	
摘 要	アクアライン高速バス	
支 払 先	京成バス株式会社	
支 払 年 月 日	令和7年4月24日	

支出伝票

		代表者	経理責任者	整理番号
				07
科 目	調査研究費	令和7年4月24日 起票		
支 払 金 額	金 3,000 円			
摘 要	福島原発震災情報連絡センター研修費			
支 払 先	福島原発震災情報連絡センター			
支 払 年 月 日	令和7年4月24日			

領収書

木更津市議会 光澤会
藤田真瑠 様

金額 3000 円



但 福島原発震災情報連絡センター研修費として

上記正に領収いたしました

2025 年 4 月 24 日

福島原発震災情報連絡センター
東京都江東区大島 9-4-2-1207 中村雅子

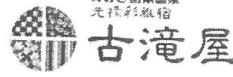
支出伝票

		代表者	経理責任者	整理番号
				08
科 目	調査研究費	令和7年4月25日 起票		
支 払 金 額	金 5,650 円			
摘 要	宿泊費、入湯税、消費税			
支 払 先	株式会社 古滝屋			
支 払 年 月 日	令和7年4月25日			

請求領収書

株式会社古瀧 登録番号 T5380001032958

発行日 (Issued) 2025/04/24



福島県いわき市常磐湯本町三丁目208
TEL 0246-43-2191 FAX 0246-43-3734

御芳名 NAME

木更津市議会 会派輝楽会 藤田真澄 様

〒972-8321
福島県いわき市常磐湯本町三丁目208
TEL 0246-43-2191 FAX 0246-43-3734

お部屋名(ROOM NAME)	人数(PERSONS)			泊数(NTS)	伝票番号(No.)	ご出発日(DEP)
	大人	子供	幼児			
402	1			1	27855	25/04/25

日付 DATE	項目 DESCRIPTION	単価 PRICE	数量 QTY	税率 Rate	金額 AMOUNT
04/24	大人素泊	5,500	1	10	5,500
	大人 朝食	2,200	1	10	2,200
	華膳(大人)	5,500	1	10	5,500
	====入湯税				150
	(10%対象, 内消費税)		13,200		



ありがとうございます。
またのご利用
お待ちしております。
領収印なきものは無効です。





税率(Rate)の「※」は軽減税率対象

ご利用額 TOTAL-BALANCE	13,350
御請求額 AMOUNT DUE	13,350

支出伝票

		代表者	経理責任者	整理番号
				09
科 目	調査研究費	令和7年4月25日 起票		
支 払 金 額	金 1,500 円			
摘 要	アクアライン高速バス			
支 払 先	日東交通株式会社			
支 払 年 月 日	令和7年4月25日			

旅費（交通費）明細書

会 派 名		代表者印	経理責任者印
木更津市議会会派 輝楽会			
氏 名 (1人)	藤田 真澄		
旅行年月日	令和7年 4月24日～令和7年4月25日		
旅行先	福島原発震災情報連絡センター		
目的	福島原発震災情報連絡センター研修		
旅 費 額 (一人当たり)	運賃（鉄道賃）	12580 円	タクシー代金（ジャンボタクシー含む）
	特別急行料金	円	
	グリーン料金	円	借上げバス代金
	座席指定料金	円	
	航空賃	円	その他（ ）
	船賃	円	
	運賃（バス）	3000 円	旅費（交通費）総額（ 1人分）
	宿泊料	5650 円	
	計	円	
備考※	往路 木更津駅西口(アクアラインバス)→東京 東京→湯本(福島県) 復路 湯本(福島県)→東京 東京(アクアラインバス)→木更津駅西口		

※備考欄には、タクシー等によらなければ目的を達成できない理由を、次の番号を明記のうえ記載すること。また、当該交通手段に係る領収書等を添付すること。

- ① 他の公共交通機関に比べ経済的な場合
- ② ほかに利用できる公共交通機関が無い、又は、運行本数が少ない場合
- ③ 急を要するなど時間的な制約がある場合
- ④ 議員に身体的支障がある場合
- ⑤ その他、合理的な理由がある場合

会派 輝楽会

視察報告

日時：令和7年4月24日～令和7年4月25

場所：福島県

福島原発震災情報連絡センター 第15回総会&被災地スタディツアー

1日目

14:40~17:30 研修

- 1.福島原発刑事裁判の最高裁判決、汚染土の全国拡散問題 武藤類子さん
- 2.たらちねから第一原発沖合の海洋調査 木村亜衣さん
- 3.再稼働せまる柏崎原発—新潟から 中山均さん
- 4.能登半島から1年避難計画はどうなる 北野さん

2日目 現地視察

- ・水素エネルギーフィールド展望台
- ・浪江復興牧場
- ・請戸小学校
- ・マリnhaus双葉

目的：福島原発周辺地域の現状を知るため。

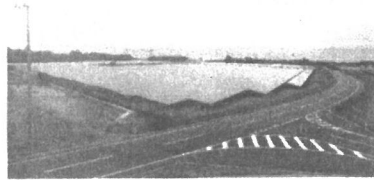
1日目の研修では、東日本震災後、現地の人達がどのように活動し、どのような思いを持っているか感じる事ができた。また、こういった方達が調査などをしてくれていることで、現在の私たちが生活するうえでの安全が守られていると感じた。

細かい数字のことは詳しくはわからないが、私が知る限り、除染土や汚染水については置く場所がないなどの理由から海洋放出、再生利用をと国が考えるのは致し方がないのではと考えていた。それは現地の人も困るだろうことと、これまでの電力も使用しており、連帯責任のようなものを感じていたから。ところが話のなかで、出来るだけ外に出さない方が良いと考えていることに衝撃をうけた。ある意味、自己犠牲ともいえるが、それでも安全を守りたいという想いを感じた研修だった。

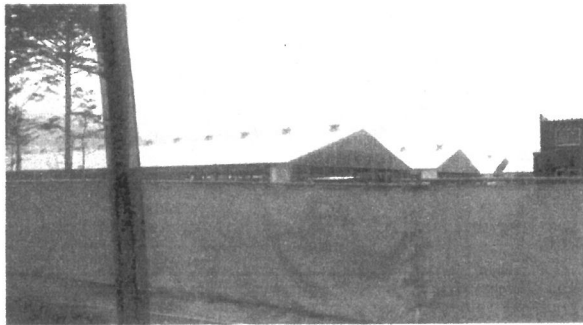
2日目の視察では、以前、能登半島にも被災地の視察もしたが、その際は地震の被害を問のあたりにした。原発付近の被害はそれとはまた違い、進入禁止区域では建物は建っているものの、10年以上経った今でも放置されたままになっており、地震とは違う怖さを感じた。よく、被災地は観光ではないと言われるが、原発事故に関しては復興すらままならないことを後学のためにも機会があれば見ておくべきと市民の方達には伝えたいと思う。現地視察の道中、山の上に風力発電が連なっており、原発とは違う問題も耳にした(熊)。説明してくれた方が電力を作るのではなく、節電を促すべき。とお話されていたのが印象的だった。

2日目の現地視察の様子。

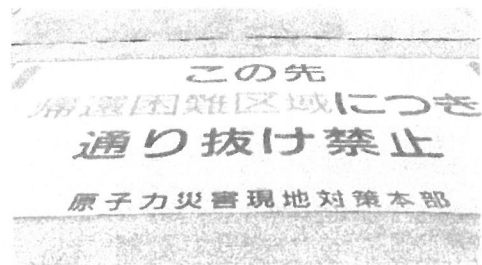
水素エネルギーフィールド



浪江復興牧場



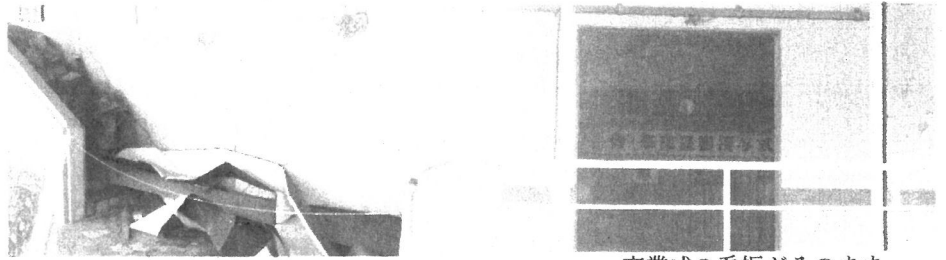
建設途中で中には入れず。



防波堤の表示

請戸小学校

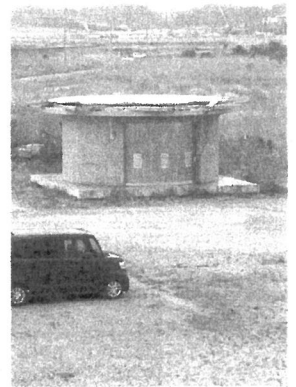
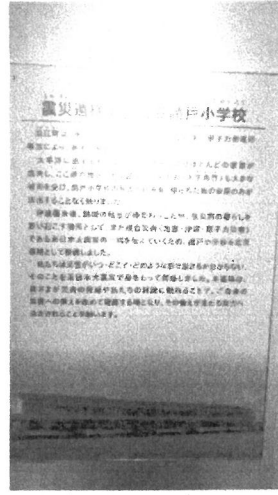
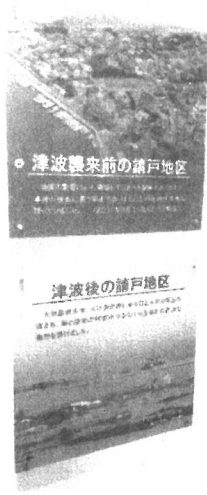
震災遺構
浪江町立請戸小学校



卒業式の看板がそのまま



津波の高さがうかがえる



自動給油型
エンジンドロローン設備

双葉町 双葉病院付近





帰宅困難地域には入れないため、
庭木もそのまま

支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		10



科 目	調査研究費	令和7年5月26日 起票
支 払 金 額	金 1,500 円	
摘 要	地方×国 政策研究会(アクアライン高速バス)交通費	
支 払 先	京成バス株式会社	
支 払 年 月 日	令和7年5月26日	

支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		11

科 目	調査研究費	令和7年5月26日 起票
支 払 金 額	金 178 円	
摘 要	地方×国 政策研究会(東京⇔国会議事堂前) 交通費	
支 払 先	東京地下鉄株式会社	
支 払 年 月 日	令和7年5月26日	

支出伝票

		代表者	経理責任者	整理番号
				12
科 目	調査研究費	令和7年5月26日 起票		
支 払 金 額	金 4,000 円			
摘 要	地方×国 政策研究会参加費			
支 払 先	自治体議員政策情報センター 虹とみどり			
支 払 年 月 日	令和7年5月26日			

地方×国 政策研究会
領 収 証

榎津市議会 輝栄会 様



4,000 円

但し 5月26日 地方×国政策研究会参加費として

2025年5月26日

自治体議員政策情報センター 虹とみどり
〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

支出伝票



		代表者	経理責任者	整理番号
				13
科 目	調査研究費	令和7年5月26日 起票		
支 払 金 額	金 178 円			
摘 要	地方×国 政策研究会(国会議事堂前⇔東京) 交通費			
支 払 先	東京地下鉄株式会社			
支 払 年 月 日	令和7年5月26日			

支出伝票

代表者	経理責任者	整理番号
		14

科 目	調査研究費	令和7年5月26日 起票
支 払 金 額	金 1,500 円	
摘 要	地方×国 政策研究会(アクアライン高速バス)交通費	
支 払 先	日東交通株式会社	
支 払 年 月 日	令和7年5月26日	

旅費（交通費）明細書

会 派 名		代表者印	経理責任者印
木更津市議会会派 輝楽会			
氏 名 (1人)	藤田 真澄		
旅行年月日	令和7年 5月 26日		
旅行先	衆議院議員会館		
目的	地方×国政策研究会		
旅 費 額 (一人当たり)	運賃（鉄道賃）	356 円	タクシー代金（ジャンボタクシー含む）
	特別急行料金	円	円
	グリーン料金	円	借上げバス代金
	座席指定料金	円	円
	航空賃	円	その他（ ）
	船賃	円	円
	運賃（バス）	3000 円	旅費（交通費）総額（ 1人分）
	宿泊料	円	
	計	円	
備考※	往路 木更津駅西口(アクアラインバス)→東京 東京→国会議事堂前 復路 国会議事堂前→東京 東京(アクアラインバス)→木更津駅西口		

※備考欄には、タクシー等によらなければ目的を達成できない理由を、次の番号を明記のうえ記載すること。また、当該交通手段に係る領収書等を添付すること。

- ① 他の公共交通機関に比べ経済的な場合
- ② ほかに利用できる公共交通機関が無い、又は、運行本数が少ない場合
- ③ 急を要するなど時間的な制約がある場合
- ④ 議員に身体的支障がある場合
- ⑤ その他、合理的な理由がある場合

第48回 地方×国 政策研究会

日時：2025年5月26日 10時～16時

場所：衆議院第2議員会館第7会議室

- 1.公益通報者保護法改正
- 2.生物多様性国家戦略とネイチャーポジティブについて
- 3.除去土壌(放射能汚染土)再生利用の処理をめぐる問題。

公益通報や除去土壌等は残土条例に関わってくるものと感じた。

生物多様性については実はとても身近であると感じる。

気温の上昇により、植物や生物の生態が変化している事を肌で感じる。

また、外来種の増加により、以前では見かけなかった動植物が増加し、既存の動植物を見なくなった。

生態系は一概に何が原因とはいえませんが、一つ一つ丁寧に取り組む必要があり、一人一人の心がけも重要と考え、一般質問で市に取り組みを問うた。